

## 第2戦からのハンディ

■第1戦において各クラス1位～3位に入賞したチームに対して、第2戦では1位3分、2位2分、3位1分のタイムハンディを与える。

第2戦に出場しなかったチームには、第3戦に出場したときに与える事とする。

同じように第2戦に1位～3位に入賞したチームには第3戦に対してハンディを与えるがタイムハンディに関しては変更となる場合がある。

第4戦に関しても各クラスシリーズ1位～3位のチームに対して1位6分、2位4分、3位2分のタイムハンディを与える。(2戦、3戦を参考にしてタイムハンディに関しては変更となる場合がある)

ハンディストップの車両に対しフロントガラスに持ち時間分のステッカーを貼る。

(例：3分なら3枚、2分なら2枚、1分なら1枚)

消化するごとにフロントガラスに貼ったステッカーをオフィシャルが剥いていく。

ハンディストップ中はエンジンを切り、基本的に他の人間が車両に触れること、ドライバーが降りる事を禁止する。

タイムハンディの消化は3時間の走行会中であれば自由に取ることが出来る。

但し、分単位でとる事、5,6ポストにて黄旗提示のある時にはピットインできない。

■第1戦よりロールバー装着車に対して周回数を2周分与える。

ロールバーはメインが40パイ以上のものでスチール製、4点式以上とする。

メイン以外は36パイ以上のものでスチール製とし、それ以外はロールバー装着車としての周回数加算は行わない。

4点(メインとリヤ又はフロント)は必ず2.0mm以上の肉厚があること、それ以外の箇所(サイドバー・斜行バー等)の肉厚は自由とする。

乗員保護の為ヘルメットがあたりそうな部分にはロールバーパットを巻くこと。

## 安全面について

- 今年からドライバー全員が長袖のツナギを着用の事。(半そで、2ピースは不可)  
(出来れば綿100%の物が望ましく、ドライビングスーツ、レーシングスーツならなお望ましい)
- ※ 緊急時、車内から引っ張り出す時に袖が伸びたり、上着が脱げたりしないのでオフィシャルの救出作業が行いやすい為。

## レギュレーションについて確認事項

- 音量は必ず95db以下である事。
- 安全タンクを取り付ける場合は上限が30Lまでで、座った位置から手の届く所に消火器(総本数は2本まで、薬剤重量が2kg以上になり有効期限切れでないもの)をしっかりと取り付けること
- バッテリー(ドライタイプ含む)を移設した場合はアルミ、スチール等(プラスチック、木材、紙等は不可)でBoxを作り転倒時などにショートしない、バッテリー液が直接ドライバーにかからないような構造であること。  
車検時に端子が確認できるようフタが開く構造であること。

## ノーマルクラス参加チームへ

昨年第1戦の車検においてノーマルクラスへ参加した車両が改造範囲の解釈の違いから改造クラスに移行となった車両が出たためお知らせします。

- ◆ヒーターユニット、ヒータースイッチが付いていてファンモーターが回る事。  
(ヒーターユニットのみ取付けは駄目です)
  
- ◆エンジンマウントの加工(金具などを溶接して固定しない)、材質(アルミ、ジュラコン、ウレタンなど)変更の禁止。
  
- ◆E/G載せ替え(例:F6A⇔K6A)の禁止、ただし記載変更済みの書類(車検証等)が確認できればOK。
  
- ◆E/G本体への加工(クランク、コンロッド、ピストン等のバランス取り、カムシャフト、社外ピストン、オーバーサイズピストンへの交換、ポート研磨、ヘッド面研、ブロック面研磨等)、アジャストプーリーの取付けは一切禁止しています。  
禁止事項が確認できた場合、当日獲得したポイント、賞典は無効とし、下位チームの順位が繰上げとなります
  
- ◆ナンバー付き車両も参加しているので基本車検に通ることが前提となります。手軽に参加できるクラスとの思いがあります、どの車両も同一条件になるよう協力をお願いします。  
このぐらいなら車検は通るという改造もあるかと思いますが、主催者権限で改造範囲を決めさせてもらっていますので御了承願います。

不明な点があれば事務局に問い合わせてください。